

司法試験合格報告 タイトル「目指せS！」

第1 自己紹介

令和5年大阪大学大学院高等司法研究科特待修了生・令和5年司法試験合格の下岡聖治（しもおかせいじ）（S・S）（宮崎県宮崎市出身）です。既修入学で、選択科目は労働法です。

第2 司法試験合格の秘訣

合格の秘訣は、大阪大学法科大学院の「授業」や「期末試験」を、「司法試験の模擬試験」と考え、阪大法科大学院での単位認定で特に優秀な成績である「S」をとれるように目指すこと（なお、阪大ローの期末試験において結果的に相対評価で、AやB+等になっても、平均的にB+以上ならば、司法試験には合格すると統計上分析されていますので、目指す姿勢が大事）です。私はそれを実践したおかげで、大阪大学法科大学院の成績優秀者として「令和5年特待修了生」と認定され、阪大ロー修了後1回で司法試験に合格できました。（特待修了生になれば、司法試験本番で大きなトラブルに直面しない限り、司法試験に1回で確実に合格すると統計上言われているので、司法試験直前期のメンタル維持にも大きな効果があります。）

そのためには、法科大学院の授業の予習は時間を測りメリハリのある予習をし、授業は集中して聞き、疑問点等は、その場で最大1時間位居残りし、同じく居残りして下さる先生方と雑談等しながら解決する等しました。（阪大ローの期末試験過去問は在学生には公開されていますので、10年分は検討しましょう。なお、修了生も最新の期末試験等を見れるようになれば、良いのですが、何故か実現していないのは、修了後に時間が経過するほど、司法試験合格率が大幅に低下することとの関係で、重大な課題です。）

そうすることで、司法試験の過去問（必ず過去問は早くから印刷して本番形式で手書きで解きましょう）も、すらすら解けるようになりました。（新司法試験の過去問は全年度、瞬発力をもって、6枚以上、時間内にかけるようになるレベルになるまで、反復継続して、答練しました。）

あとは、お金がなくて、食事等に困ったりすることも、司法試験受験生では、よくある悩みです。そんな時は、弁護士の先輩等に、おいしいご飯を奢ってもらったりしていました。

第3 個人の尊重

私は、「困っている等している人を助け、日本国憲法の理念である個人を尊重し、個人の自己実現を実現できるように、知恵を貸せるような法曹」になりたいと考えています。

第4 先輩等と積極的にコミュニケーションを持ちましょう

そこで、これを読んでいる阪大ロー関係者等で、困っている方がいれば、今までの膨大な経験（多くの先輩の体験談等を含む）を活かした助言等をしたと思いますので、教務係に私の連絡先を聞くなりして、気軽にご相談下さい。私が、都合が付き大阪にいれば、おいしいご飯も、可能であれば提供したいと思います。

（合格体験記を読むだけでは、個人の事情に応じた、具体的なアドバイスはできず、司法試験に全員合格はできないと考えています。各種コミュニケーションを通じて、法曹として

の基礎力が、身に付くと考えます。阪大法科大学院に入学でき、修了できた人は、基礎学力等はあるため、継続して試行錯誤すれば、必ず司法試験に合格すると思います。)

私は、阪大法科大学院での学恩を返すために、阪大法科大学院関係者の答案等を、多角的に自己分析するお手伝い等をして、阪大ロー生が最終的に全員司法試験に合格できるように、貢献したいと考えています。

第5 健康第一で、長生きしましょう

自分自身のことを一番大事にし(人生の主人公はあくまでも自分自身です)、健康第一(睡眠時間の確保は、とても大事)で、たんたんと、頑張ってください。(日本最難関の国家試験である司法試験の受験生は、頑張りすぎて、心身が不調になる人が、とても多いので、睡眠時間は、必ず確保し、規則正しい生活が、コスパがいいです。そして、無理に頑張り、在学中受験をする等せず、自分の答案と合格水準との距離感を常に考え、先生や先輩の助言も真摯に受け、たんたん実力を向上させましょう。なお、健康維持のためには、毎日1時間歩くことが、医学的に良いことだと、阪大法科大学院の教授が仰っていたので、これもお勧めします。みんなちがって、みんないい。)

そうすると、長生きでき、時間がかかったとしても、司法試験には必ず合格できます。日本で1番の司法試験受験指導者も、「人それぞれの、1番いい時期に司法試験に合格する。」と仰っています。科目数も多く、実力者しか受験できない現在の司法試験にまぐれ合格はありません。(試験は水物なので、実力者でも司法試験に不合格することはあります。)やればできる、かならずできる。応援しています。

第6 感謝及びまとめ

最後に、私が司法試験に合格できたのは、大阪大学法科大学院の先生方、教務係の方等や友人、家族等及び、司法試験に直接は関係ないかもしれませんが、地元宮崎県宮崎市の幼稚園から宮崎県立宮崎西高校までの先生方等私と面識のあるすべての人のおかげです。なぜならば、司法試験は、国語力、判断力、瞬発力、メンタル維持・健康管理法等、人間としての総合力が試される、日本で最難関の国家試験だからです。本当に、ありがとうございました。

後輩の皆様や、この文章を読んだ現在様々な問題で困っている人の、各種相談・うれしい報告を、お待ちしております。目指せS!

以上(司法試験の答案では、「時間配分に気を付けて全ての問いに答え」、必ず「以上」まで書きましょう)。